

令和4年度 JOCジュニアオリンピックカップ
文部科学大臣旗 未来くん杯 第17回全国中学生空手道選抜大会
【大会実施要項】

- 1 大会名 文部科学大臣旗 未来くん杯 第17回全国中学生空手道選抜大会
 2 主催 公益財団法人 全日本空手道連盟
 3 共催 全国中学校空手道連盟
 4 主管 京都府空手道連盟
 5 後援 スポーツ庁 (公財)日本スポーツ協会 (公財)日本オリンピック委員会
 (予定) (公財)日本武道館 日本武道協議会 (公財)笹川スポーツ財団
 (公財)ブルーシー・アンド・グリーンランド財団 (公財)日本中学校体育連盟
 京都府 京都市 京都府教育委員会 京都市教育委員会
 (公財)京都府スポーツ協会 全日本空手道連盟近畿地区協議会

6 大会日程 令和5年3月26日(日)～28日(火)

期日	時間	内容	会場
3月26日 (日)	14:00～14:30	審判会議	第2会議室
	14:40～15:20	監督者会議	第3会議室
	13:00～15:00	受付(都道府県単位)	体育館1階ロビー
3月27日 (月)	9:00	開場	メインアリーナ
	10:00～18:20	競技 1年生男女個人 形 1R～決勝戦 1年生男女個人組手 1回戦～決勝戦 各階級表彰式	
3月28日 (火)	9:00	開場	メインアリーナ
	10:00～18:20	競技 2年生男女個人 形 1R～決勝戦 2年生男女個人組手 1回戦～決勝戦 各階級表彰式・閉会式	

- 7 大会会場 京都府立体育館(島津アリーナ京都)
(京都府京都市北区大將軍西鷹司町 TEL. 075-462-9191)

8 参加資格

- (1) 選手は、所属する都道府県中学校空手道連盟または都道府県空手道連盟の主催による予選会において選抜された選手またはそれらの連盟の承認を受けた選手であること。
 (公財)全日本空手道連盟に登録している会員であること。
 (公財)全日本空手道連盟公認段位級位を保有していること。
- (2) 監督・コーチは、(公財)全日本空手道連盟に登録している会員であり、(公財)日本スポーツ協会公認空手道コーチ1以上、または(公財)全日本空手道連盟公認地区組手審判員以上の資格を有するものであること。(参加申込書に、必ず監督者名を記入すること。)

9 競技種目(学年・男女別) 8種目

○男子・女子 個人形(中学1年の部・中学2年の部)

○男子・女子 個人組手(中学1年の部・中学2年の部)

<形・組手に重複して出場することができる>

10 競技規定 公益財団法人全日本空手道連盟組手競技規定、形競技規定により行う。

11 競技方法

(1) 組手競技はトーナメント方式とし、3位決定戦は行わない。

(2) 形競技について

①本大会は形審判員による、形の得点制システムを採用いたします。

・各審判員の技術点・競技点それぞれの点数5.0~10.0の間で採点。

②参加人数により、グループ数を決定します。1グループあたりの人数は、8~12人。

③全てのRoundは、1人ずつ演武とする。

④Round1の上位4人がRound2に進出し、Round2の上位4名がRound3に進出、Round3の上位4名がRound4に進出、移行メダルマッチとします。

⑤Round1は第1指定形、Round2は第2指定形、Round3・Round4・メダルマッチは得意形とし。

各ROUND演武する形が連続しなければ、同じ形を使っても良い。

(3) 組手競技について

①6ポイント差とし、競技時間は1分30秒フルタイムとする。

②安全具は、(公財)全日本空手道連盟検定品とする。

ニューメンホー〔Ⅵ・Ⅶ〕、メンフォーシールド(ミズノ製)、拳サポーター〔赤・青〕、マウスピース〔任意とする〕、セーフティーカップ〔男子のみ〕、ボディプロテクター、インステップガード・シンガード(白のみ)、JKF検定のものとする。

(4) 赤帯・青帯について

①赤帯・青帯は、(公財)全日本空手道連盟検定品とする。

選手各自で帯を持参すること。※帯止めは使用しない

(注意事項) 新型コロナウイルス感染防止対策として安全具・帯等の共有は認めない。
各自で用意すること。

(5) 服装について

①選手は、競技規定にそった清潔な白の空手着を着用すること。胸表示は各都道府県名のみ(15cm×7cm程度)を標記した規格のものを、左胸に縫い付けること。色は黒色とする。左袖の都道府県名の表示は認める。ゼッケンは事前に郵送されたものを競技開始までに背中に縫いつけること。

ゼッケンのないものは参加できない。※空手着の上衣の腰部の紐は結ぶこと。空手着の胸部の紐はつけない。競技時以外は、マスクを着用すること。(白色とする)

②監督は、全空連指定ジャージ(新旧問わず)とする。監督IDは、監督者会議において交付する。
マスクを着用すること。(白色とする)

③監督、選手は品位ある態度で競技に臨むこと。選手は、染髪および脱色、ピアス、過度の空手着の変形等、競技者としてふさわしくないと判断された場合、参加を取り消す。

14 表 彰

(1) 文部科学大臣旗の授与について

- ①文部科学大臣旗を都道府県の入賞者の得点により男女別に授与する。
得点は国体方式とし、1位8点、2位7点、3位5点、(2名)・5位2,5点(4名)とする。
- ②総合得点により同点の場合は、優勝者数の多い都道府県を上位とする。
- ③さらに同内容の場合は、同順位とする。
- ④前回優勝都道府県は、開会式において優勝旗を返還すること。返還時にレプリカを与える。

(2) 各種目ベスト8進出選手を下記の通り表彰する。

【優勝1名、準優勝1名、第3位2名、第5位4名】

(3) 上記選手は、表彰式に必ず参加すること。

13 審 判 員 大会審判団は、(公財)全日本空手道連盟公認審判員により編成される。

- (1) 各都道府県より推薦の公認全国組手審判員(1~3名)を大会審判員に委嘱する。なお、選手が参加する都道府県は1名以上の審判員を推薦して派遣すること。(3名以上でも可)
推薦審判員は、公認全国形審判員資格または地区形審判員資格を有していること。
- (2) 各都道府県より推薦の審判員に係る経費は、大会実行委員会では負担しない。
- (3) 各都道府県より推薦の審判員は、出場申込書(その1)に記入し参加申し込みと同時に提出する。
- (4) 大会審判員に不足が生じた場合は、開催地区協議会から選出し委嘱する。
- (5) 派遣審判員は65歳以下とする。

14 抽 選 京都府空手道連盟で実施致します。

15 傷害処置及び対策

- (1) 選手は、本大会前1週間以内に各自の責任において健康診断を受け、医師の出場許可を受けておくこと。また、本大会出場選手は必ず健康保険証を持参すること。
- (2) 参加選手は全員スポーツ傷害保険に加入していること。
- (3) 傷害保険は、主催者側が参加選手全員に主催者負担で加入手続きをする。
- (4) 出場選手が競技中負傷した場合は、主催者において応急処置をする。

16 新型コロナウイルス感染症対策について (入場者は、白マスク着用のこと)

- (1) 感染拡大の状況及び緊急事態宣言発令によっては中止する場合もある。
- (2) 感染防止のため主催者・主管が決めた措置に従うこと。(入場者は、白マスク着用のこと)
- (3) 入場者連絡票の提出を義務付ける(各都道府県選手・監督・コーチ・役員)。
- (4) 有観客とする。(入場制限なし)

< 参加の見合わせについて >

- (4) 参加者の体調がよくない場合(発熱、咳、咽頭痛など)の症状がある場合は参加しない。
- (5) 同居家族や身近な知人に感染が疑われている場合は参加しない。
- (6) 参加選手及び関係者で過去7日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は参加しない。
- (7) 当日、検温で37.5℃以上の場合、入場不可とする。